

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-26
補助事業名 平成26年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充事業等補助事業
補助事業者名 宮城県

1 補助事業の概要

本事業では、ISO（国際標準化機構）や IEC（国際電気標準会議）などの国際規格に準じた電子機器の耐ノイズ評価試験が可能な「高周波・サージ試験システム」を宮城県産業技術総合センターに導入しました。

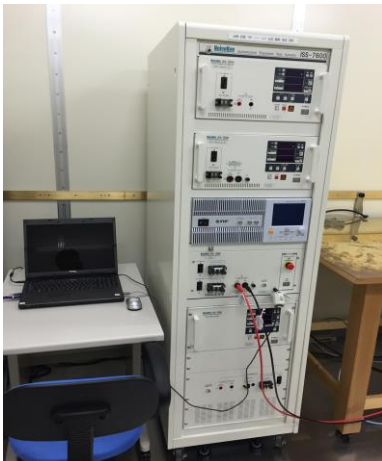
高調波・サージ試験システムの構成は「過渡サージ試験装置」「雷サージ試験装置」「電源高調波・フリッカー測定装置」「電圧ディップ・瞬時電圧変動試験装置」「ベクトルネットワークアナライザ」であり、本システムによる施設・機器開放事業、技術改善支援事業を通して、電子機器や車載機器の EMC 耐性の最適化について、迅速な技術支援の提供を目指します。

2 予想される事業実施効果

本事業により導入した高調波・サージ試験システムにより、車載電子機器をはじめとする電子・電気機器の EMC 試験を迅速に行うことが可能となり、最新の国際規格に準拠した試験により電子・電気機器の信頼性が向上、また、開発費用の低コスト化が期待できます。

3 本事業により導入した設備

①過渡サージ試験装置



設置場所：宮城県産業技術総合センター

国際規格IS07637-2、IS07637-3で要求される車両内で発生する様々な過渡的サージ現象を再現し、車載電子機器・部品の耐性評価試験を国際規格に準じた形で試験可能な装置です。

②雷サージ試験装置



設置場所：宮城県産業技術総合センター

電子機器が国際規格IEC61000-4-5で要求する誘電雷などから発生する強ノイズに曝されたときの耐性評価を行う装置であり、2014年に規格改訂され、それに準拠した試験装置です。また国際規格の電圧レベルを超えた出力が出せるため、国際規格を超えた信頼性評価が可能です。

③電源高調波フリッカ・ディップ試験装置



電源高調波フリッカー装置

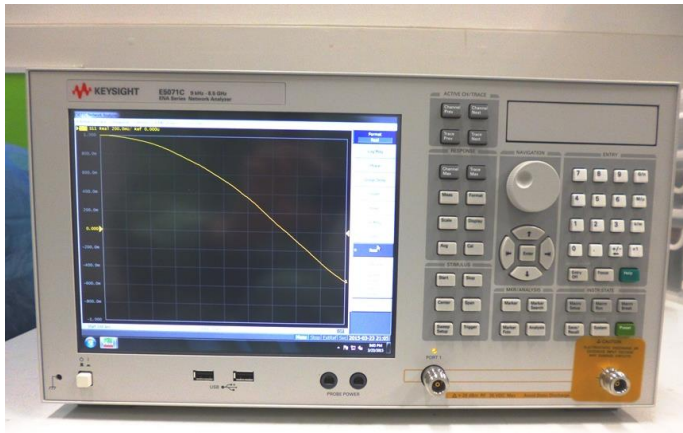


電圧ディップ・瞬時電圧装置

設置場所：宮城県産業技術総合センター

電子機器に対して、国際規格IEC61000-3-2、IEC61000-3-3及びIEC61000-4-11で規定されている電源高調波測定、フリッカー測定及び電圧ディップ試験が可能な装置です。最新のIEC規格やJIS規格、三相機器についても対応可能です。

④ベクトルネットワークアナライザⅡ



設置場所：宮城県産業技術総合センター

高周波回路などの周波数特性評価が可能な装置です。Sパラメータ測定やTDR測定を用いて、高周波電子機器のインピーダンス特性評価などの評価を可能とします。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 宮城県産業技術総合センター
(ミヤギケンサンギョウギジュツソウゴウセンター)

住所： 〒981-3206
宮城県産業技術総合センター

代表者： 所長 守 和彦 (モリ カズヒコ)

担当部署： 機械電子情報技術部 電子応用技術開発班
(キカイデンシジョウホウギジュツブ
デンシオウヨウギジュツカイハツハン)

担当者名： 技師 坂下 雅幸 (サカシタ マサユキ)

電話番号： 022-377-8700

F A X : 022-377-8712

E-mail : soudan-itim@pref.miyagi.jp

U R L : <http://www.mit.pref.miyagi.jp/>